

# 平成 26 年度 一番茶萌芽・生育状況報告

佐賀県茶業試験場

## 1. 萌芽期

本 年	前 年	平 年
4 月 1 日	3 月 27 日	3 月 30 日

注) 平年値は前 5 カ年の平均。

## 2. 生育状況

調査日		4 月 5 日	4 月 10 日	4 月 15 日	4 月 20 日	4 月 25 日	4 月 30 日
芽 長 (cm)	本年	0.94 ±0.38	1.43 ±0.74	1.90 ±0.51	4.31 ±1.01	5.76 ±1.37	
	前年	0.81 ±0.39	1.33 ±0.61	2.17 ±0.96	4.50 ±1.50	6.51 ±1.60	9.95 ±1.90
	平年	0.87 ±0.63	1.94 ±0.52	3.57 ±0.96	4.82 ±1.35	7.21 ±1.66	8.99 ±1.95
葉 数 (枚)	本年	0.26 ±0.38	1.04 ±0.53	1.71 ±0.47	2.53 ±0.46	3.26 ±0.47	
	前年	0.22 ±0.33	1.08 ±1.03	1.42 ±0.50	2.54 ±0.57	3.21 ±0.46	4.37 ±0.52
	平年	0.51 ±0.30	1.26 ±0.55	2.05 ±0.50	2.72 ±0.55	3.58 ±0.51	4.10 ±0.52

## 3. 晩霜と最低気温

終霜月日	本年 4 月 7 日 (0.7℃)	前年 4 月 22 日 (2.1℃)
最低極温	本年 1 月 23 日 (-4.1℃)	前年 1 月 11 日 (-5.1℃)

注) 終霜月日は最低気温 4℃以下を目安に判断した。

## 4. 供試茶園の概況

- (1) 品 種 名 : やぶきた
- (2) 樹 齢 : 42 年生
- (3) 植栽様式 : 畝幅 180cm 株間 50cm 条間 50cm (二条植え)
- (4) 樹 高 : 75 cm (中切り更新後 6 年目)
- (5) 株 張 り : 165cm
- (6) 施 肥 量 : N : P : K = 50 : 20 : 18 kg/10a (年間 7 回分施)

## 5. 概要

### 1) 気象条件(茶業試験場内観測)

#### (1) 気温

1月上旬から3月下旬までの平均気温は2月中旬から3月上旬を除いて概ね平年より高く経過した。一番茶新芽生育期の平均気温は、4月上旬と5月上旬は平年よりやや低く経過し、4月中下旬はやや高く経過した。

#### (2) 降水量

積算降水量は1月 41.5 mm (平年比 78%) と平年より少なく、2月 129 mm (平年比 95%) は平年並みで、3月 181.5 mm (平年比 127%) と平年より多かったが、4月 87.5 mm (平年比 48%)、5月上旬は 1 mm (平年比 2%) と平年よりかなり少なかった。

#### (3) 日照

積算日照時間は1月 152.8 時間 (平年比 128%)、2月 106.1 時間 (平年比 90%)、3月 173.1 時間 (平年比 106%)、4月 168.8 時間 (平年比 85%) であった。また、5月上旬は 98.7 時間 (平年比 141%) と平年値より長かった。

#### (4) 降霜

4月上中旬において一番茶の新芽生育に影響したと思われる低温が観測された(最低気温: 4月4日 3.2℃、4月5日 1.9℃、4月6日 2.2℃、4月7日 0.7℃)。また、最終降霜日は4月7日であった。

### 2) 萌芽後の生育状況

本年の萌芽期は4月1日で、平年より2日遅かった。新芽生育期における最終降霜日は4月7日と早く、それ以降は極端な低温がなく、4月中下旬の平均気温が平年よりもやや高めで経過したことから、萌芽から摘採までの所要日数は27日間(積算温度 346℃)と平年31日間(積算温度 405℃)よりも4日短くなった。

### 3) 病害虫の発生状況

作況調査園において一番茶の生育および収量に影響を及ぼすほどの病害虫の発生はなかった。ただし、摘採時期が遅い晩生品種でチャノホソガによる巻葉被害が散見された。

# 平成 26 年度 一番茶実収報告

佐賀県茶業試験場

## 1. 摘採日

本 年	前 年	平 年
4 月 28 日	5 月 1 日	4 月 30 日

注) 平年値は前 5 カ年の平均。以下の表も全て同じ。

## 2. 生葉収量 (kg/10a)

本 年		前 年		平 年	
収 量	指 数	収 量	指 数	収 量	指 数
606.8±43.8	99	530.0±26.3	87	610.9±28.5	100

## 3. 百芽重 (g)

本 年		前 年		平 年	
重 量	指 数	重 量	指 数	重 量	指 数
59.6±3.3	95	54.9±8.5	88	62.7±5.5	100

## 4. 新芽数 (本/m<sup>2</sup>)

本 年		前 年		平 年	
芽 数	指 数	芽 数	指 数	芽 数	指 数
1592±107	108	1383±172	94	1475±135	100

## 5. 出開度 (%)

本 年	前 年	平 年
49.4±15.0	44.5±13.4	40.9±7.6

## 6. 作況調査園の概要

### 1) 摘採日

本年の作況調査園の摘採日は、4 月 28 日で、前年より 3 日、平年より 2 日早かった。

### 2) 収量

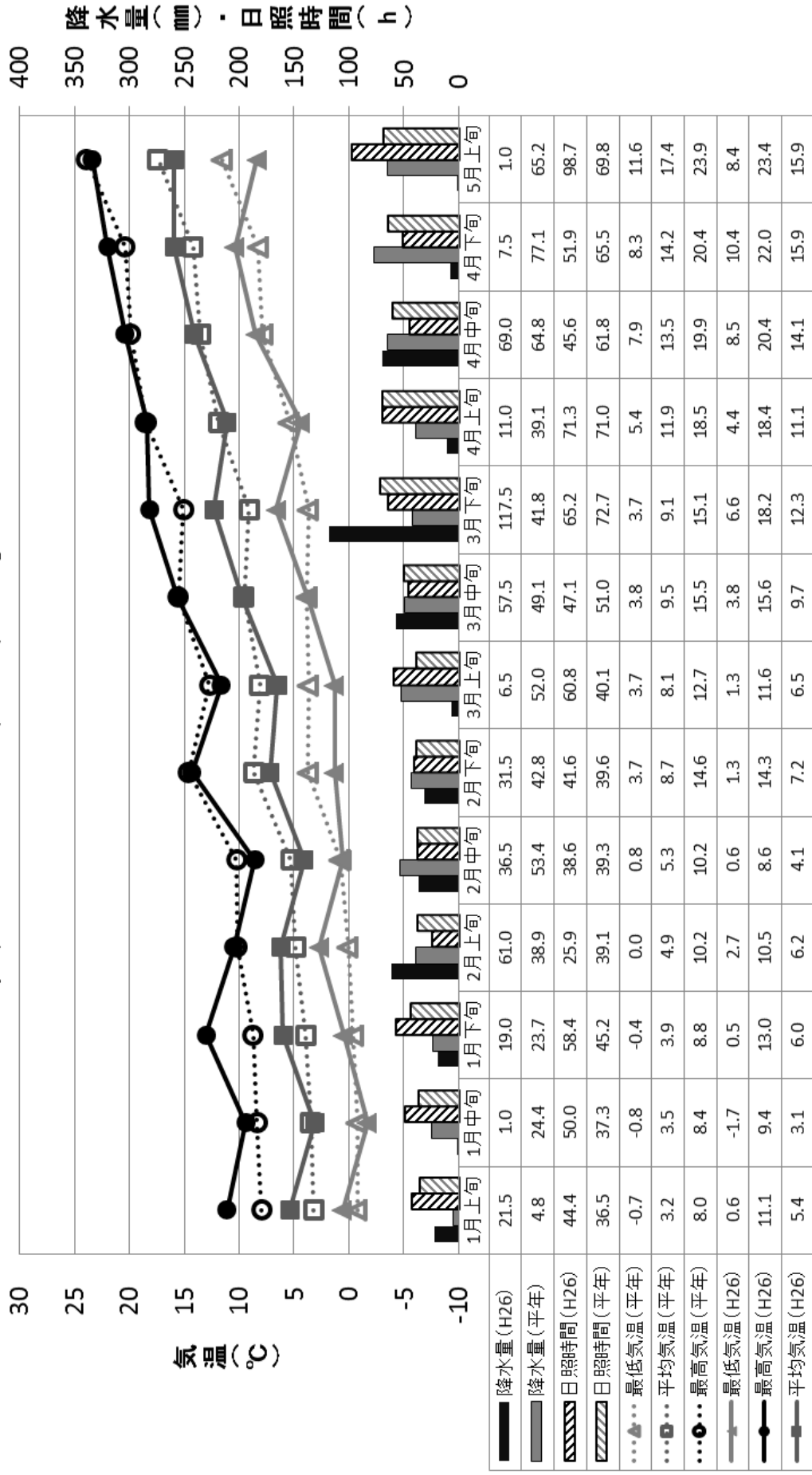
本年の作況調査園の収量は、606.8 kg/10a で、前年より 14%多く、平年並みであった。

## 7. 本県の概要

2 月中旬から 3 月上旬の平均気温は平年よりも低かったことから、一番茶の萌芽期は平年よりもやや遅れた。その後の新芽生育期にあたる 4 月の平均気温は、上旬は平年よりも低く、下旬は平年よりも高めで推移したため、早晩の品種間の生育差が少なくなり、摘採時期が短期集中傾向となった。また、5 月 7 日の低温（標高 81m の嬉野アメダス観測地点における最低気温：4.5℃）により防霜設備のない一部の茶園では晩霜害が発生した。この低温により山間部では、露地園を中心として新芽色の黄緑化が散見された。

病害虫の発生については、4 月下旬の県内巡回調査の結果で、カンザワハダニ成虫の寄生葉率は 0.6%（平年 3.7%）で平年よりもやや低く、チャノキイロアザミウマおよびチャノミドリヒメヨコバイの発生は少なく、実害は見られなかった。

# 気象概況(平成26年1月上旬～5月上旬・嬉野市)



注1) 測点:嬉野アメダスポイント

注2) 平年値は過去5か年の平均